

【研究名】：プラチナ併用ペメトレキセド療法患者における重篤な血液毒性の危険因子の探索

【研究目的】

ペメトレキセド(注射薬:商品名はアリムタ)という抗がん剤は腎臓から尿として体の外へ出ていきます。そのため、腎臓の力が弱っている高齢の患者さんや、腎臓に負担がかかるお薬を使用されている患者さんには慎重に投与する必要があります。ペメトレキセドとシスプラチン(注射薬:商品名はシスプラチン)あるいはカルボプラチン(注射薬:商品名はカルボプラチン)と一緒に投与する患者さんにおける治療上問題となる副作用がどのような患者さんにおきるかの要因を明らかにすることは、安全な治療に繋がります。そこで、ペメトレキセドを含む抗がん剤治療を行っている患者さんを対象に、治療上問題となる副作用に及ぼす発症要因を調査します。

【研究意義】

ペメトレキセドを含む抗がん剤治療を行う患者さんに対する、副作用モニタリングツール作成への活用や院内における情報の提供を通して、安全ながん化学療法に繋がることが期待できます。

【調査の対象となる患者さん】

2009年7月～2015年3月の間にペメトレキセドを含む抗がん剤治療を行った患者さん

【方法】

調査の対象となる患者さんのカルテから、以下の項目を調べます。

年齢、性別、がんの治療内容、服用している薬、使用した注射薬、検査値

【患者さんの個人情報の管理について】

「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて患者さんのプライバシーを守るよう努めています。結果の発表や出版に際しては個人が特定できるような情報は掲載しませんので、患者さんの個人情報が外部に漏れることはありません。

【研究実施体制】

研究機関： 愛媛大学医学部附属病院 薬剤部

研究責任者： 教授 荒木 博陽

研究分担者：

准教授 田中 亮裕

主任 河添 仁

薬剤師 矢野安樹子

【研究に関する問い合わせ先】

本研究からご自身の情報を除いてほしいという方は、下記の連絡先までお申し出ください。

また、本研究に関する詳細な資料を希望される方や詳細な情報を知りたい方は下記の連絡先まで連絡をお

願います。

研究責任者： 准教授 田中 亮裕

電話番号： 089-960-5731

e-mail: akiki@m.ehime-u.ac.jp

【研究成果】

定期内服の NSAIDs 併用はペトレキセドの血液毒性のリスクを有意に上昇させました。カルボプラチン併用ペトレキセド療法患者において、癌性疼痛管理が必要な時には NSAIDs の代替薬としてアセトアミノフェンへの切り替えを考慮する必要がある可能性が示唆されました。(第 54 回日本癌治療学会学術集会 発表)